

女って、鋭いなあ

朝、曇っていたので傘を持って行った。

学校についたら、丁度十二時四十分。

後で、知ったのだが、練習は九時半から十二時までで、もう、皆、お帰りになられたらしく、誰もおらん。

こっちは、ナップ一つで、だれもない校庭を、太陽がキラキラ照る中、雨傘を持って、とぼとぼ歩いた。だれもない、ハンドボールのゴールがさびしそだった。

講堂も昼の時間で誰もいない。

バスケットで少し遊ぶ。
大変静かである。

バスケットの大きな黄色いボールが、バタン、バタンと、大きな音をたて、床をたたく。

一人じゃ、おもしろくない。

昼から練習する部の連中が、暗いロッカー室にポツリポツリ来た。

すぐ、と言っても、二十分ほどやってから、学校を出てゆく。

電光時計が一時十一分をさしている。